参考資料１．中国本土・香港観光客の旅行特性

（１）性別・年齢

≪中国本土・香港市場≫

〇性別

・性別構成比は両空港ともに「女性」が高く、新千歳空港は約 65%だが、羽田空港は 100%である。

〇年齢

・回答者の年代は、新千歳空港では「20 歳台」の構成比が約 49%と最も高く、羽田空港では「30 歳台」の構成比が約 75%と最も高い。

〇国籍・地域

・国籍・地域構成比は両空港ともに「中国本土」が高く、新千歳空港は約 74%だが、羽田空港は 100%である。

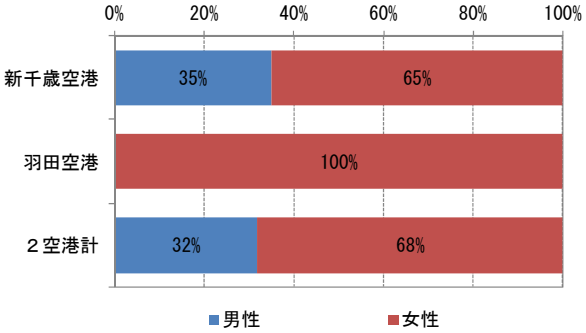

図　中国本土・香港市場の性別構成比

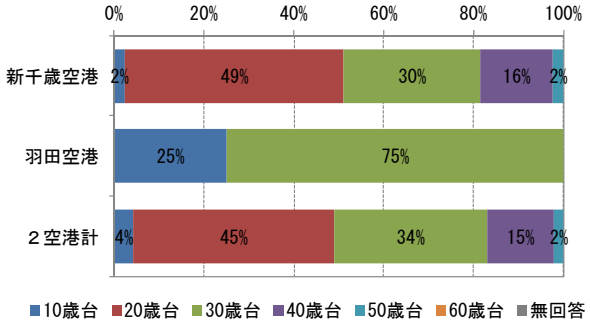

図　中国本土・香港市場の年齢構成比

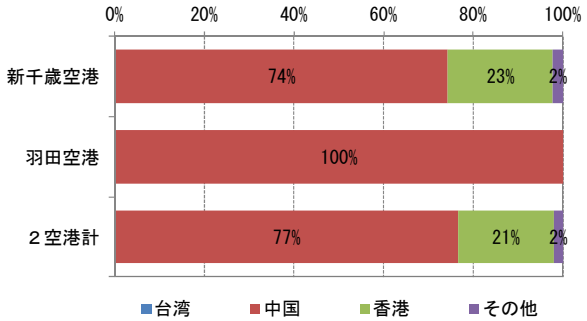

図　中国本土・香港市場の国籍・地域構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（２）旅行特性

≪中国本土・香港市場≫

〇旅券手配方法

・空港によって傾向が異なり、新千歳空港では「往復航空券と宿泊券を個別手配」が最も高く約 53%だが、羽田空港は、「往復航空券と宿泊券がセットになった個別旅行向けパッケージ商品」が約 50%と最も高い。

〇滞在日数

・新千歳空港では「４泊５日」、「６泊７日以上」が約 35%と最も高く、羽田空港は「３泊４日」、「５泊６日」が半々となっている。

〇入国空港

・新千歳空港は入国も「新千歳空港」が最も高く約 81%である。羽田空港も入国が「羽田空港」の構成比が最も高く約 75%である。

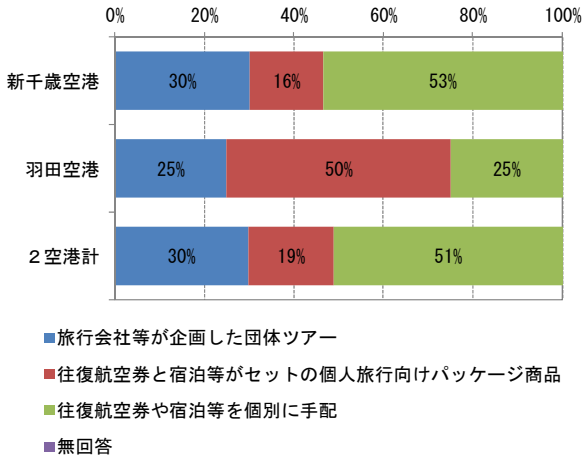

図　中国本土・香港市場の旅券手配方法構成比

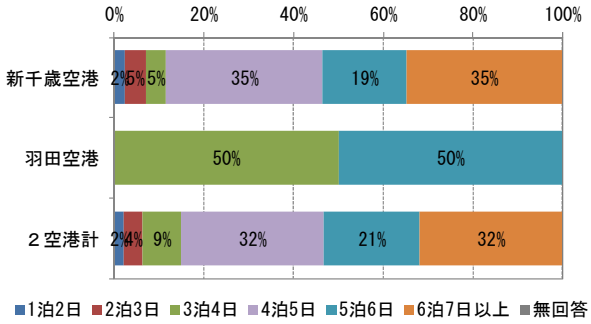

図　中国本土・香港市場の滞在日数構成比

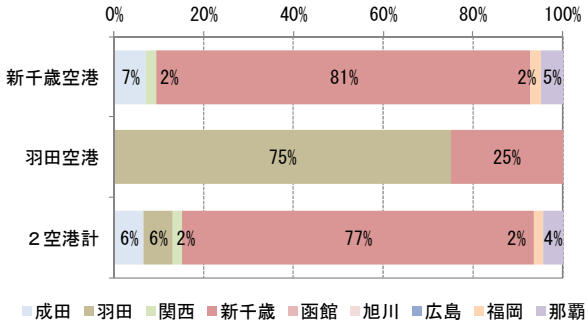

図　中国本土・香港市場の入国空港構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（３）同行者

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では「家族・親族」、「友人」が約 37%と最も高く、羽田空港も「家族・親族」が約 75%と最も高い。

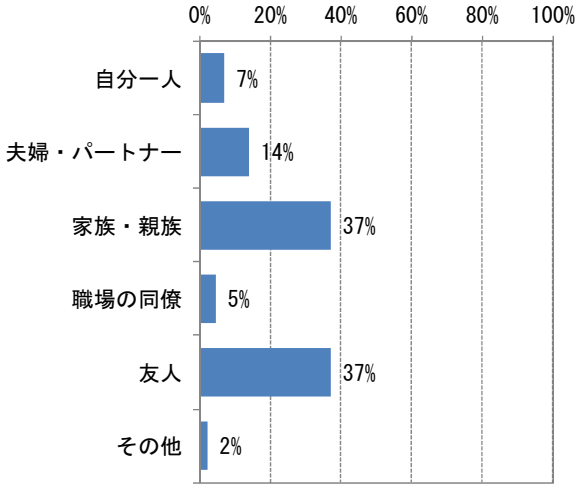

図　新千歳空港における
中国本土・香港市場の同行者構成比

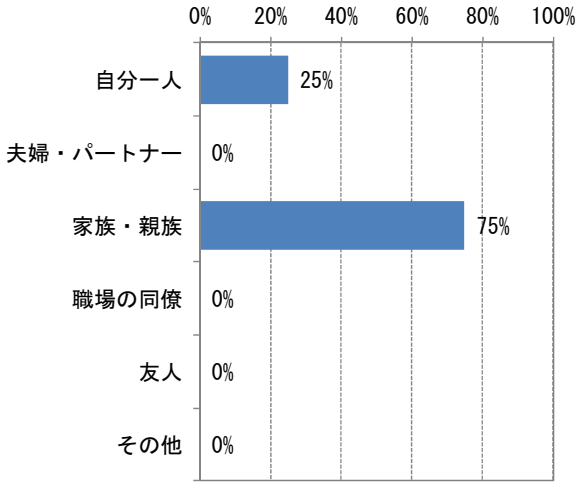

図　羽田空港における
中国本土・香港市場の同行者構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（４）今回あるいは過去の旅行における東北の旅行先

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では、約 5%の観光客が今回の旅行中に「青森」に来訪している。

・今回の調査では、羽田空港の回答者の中に東北来訪経験者がいなかった。

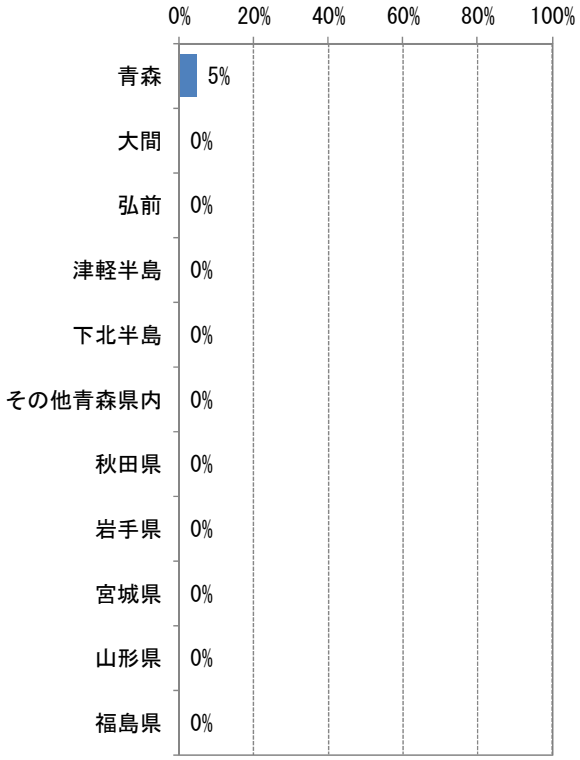

図　新千歳空港における
中国本土・香港市場の東北旅行先構成比

図　羽田空港における中国本土・香港市場の
過去あるいは今回の東北旅行先構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（５）東北への観光経験

≪中国本土・香港市場≫

・両空港で「行ったことがない」が高く、新千歳空港は約 98%、羽田空港では 100%である。

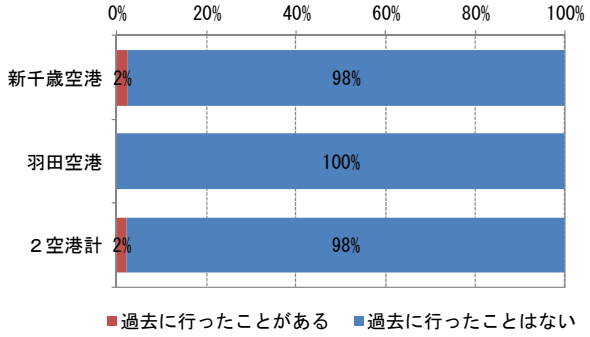

図　中国本土・香港市場の東北観光経験有無構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（６）東北の認知

≪中国本土・香港市場≫

・認知においては、両空港ともに「東北の名称のみ知っている」が最も高く、ともに約 50%である。

・「名称など、初めて聞いた」と回答したのは、新千歳空港では、約 33%で羽田空港では 0%である。

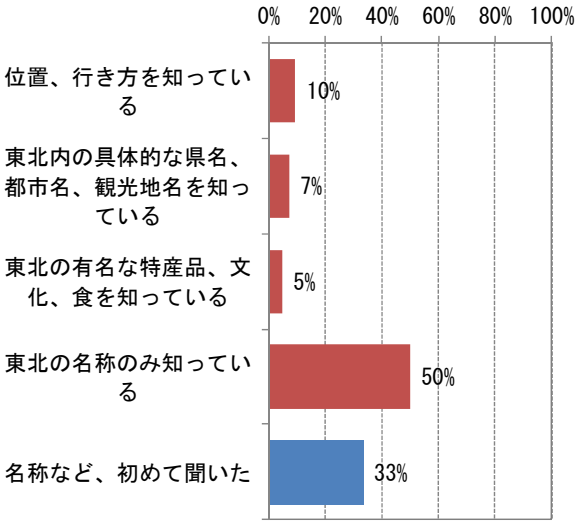

図　新千歳空港における
中国本土・香港市場の東北認知構成比

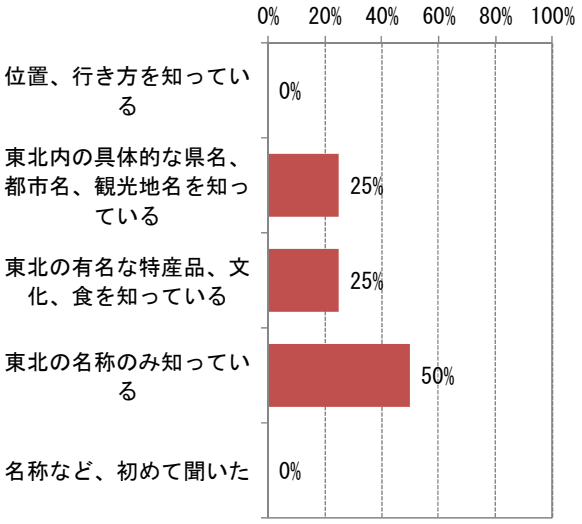

図　羽田空港における
中国本土・香港市場の東北認知構成比

※サンプル数は、過去に東北に行ったことがないと回答した回答者で新千歳空港が 42、羽田空港が 4

（７）過去の旅行における東北の旅行先

≪中国本土・香港市場≫

・過去の東北来訪経験者の行き先は「宮城県」「山形県」となっている。

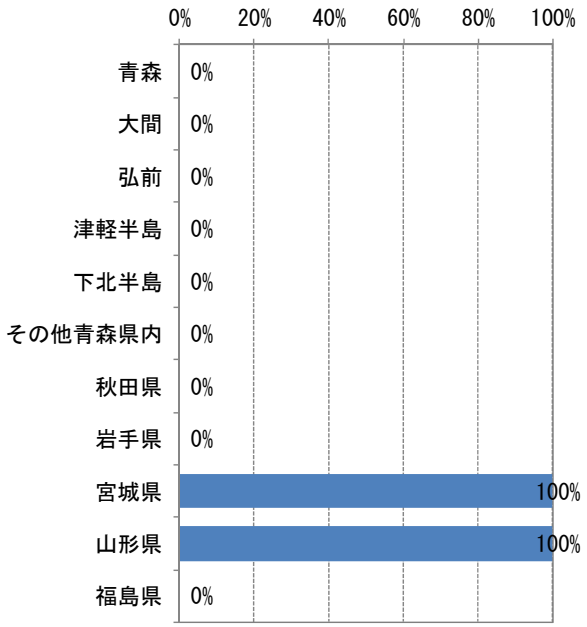

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の過去の東北旅行先構成比

※サンプル数は、過去に東北に行ったことがあると回答した回答者で新千歳空港で 1

（８）今回あるいは過去の旅行における北海道の旅行先

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では、「札幌」が最も高く約 88%、次いで「小樽」が約 70%、「登別」が約 49%と道央地域内が高い。しかし、道南の「函館」も約 47%と高い。また、道北の「旭川」や釧路圏の「阿寒湖」が約 12%と広域に旅行している。

・羽田空港では、「札幌」「小樽」がともに最も高く約 50%であり、「登別」「洞爺湖」が約 25%である。

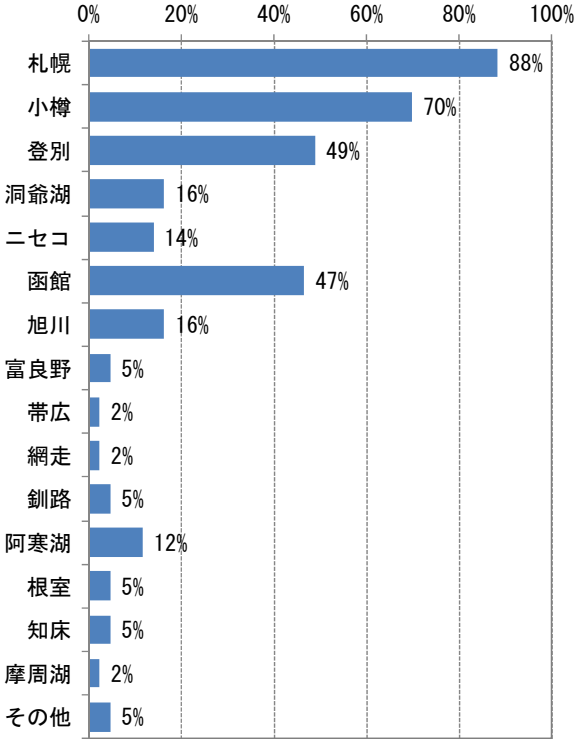

図　新千歳空港における
中国本土・香港市場の道内旅行先構成比

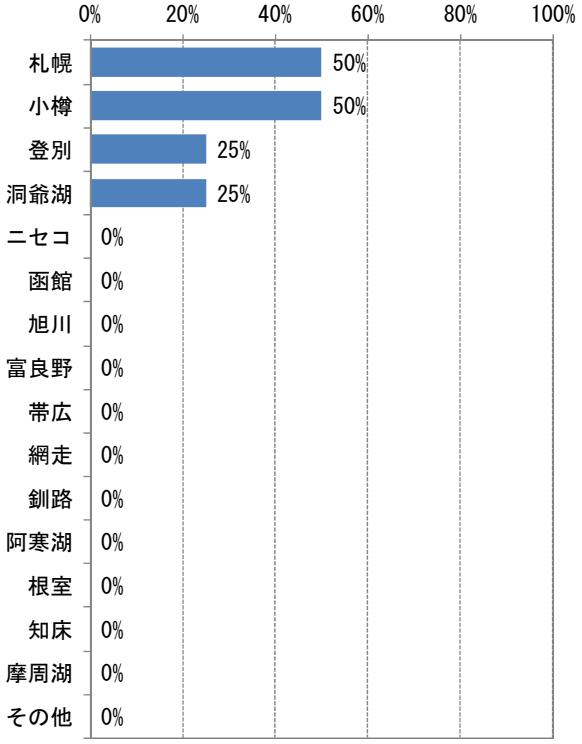

図　羽田空港における中国本土・香港市場の
過去あるいは今回の道内旅行先構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港は過去に北海道に行ったことがあると回答した回答者で 2

（９）北海道の周辺地域以外を旅行しなかった理由

≪中国本土・香港市場≫

・「移動に時間がかかり、今回の行程では行くことが困難だったから」が最も高く、約47％である。

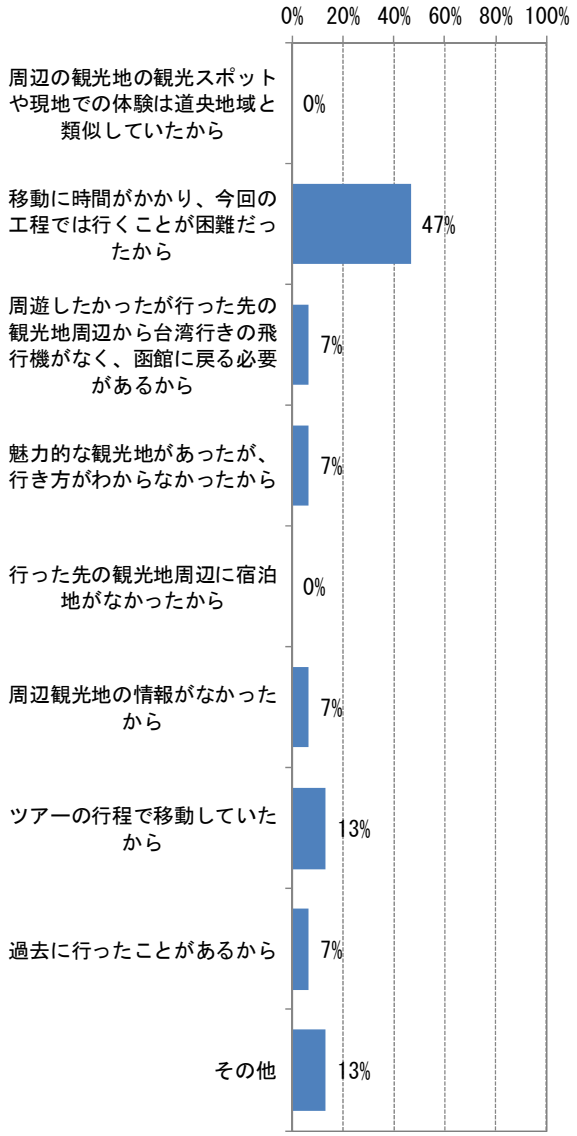

図　新千歳空港における

中国本土・香港市場の周辺のみしか旅行しなかった理由

※サンプル数は、新千歳空港で道央地域以外を旅行しなかった回答者 15

（10）過去に行った際の東北への旅行目的と満足できた目的

≪中国本土・香港市場≫

・旅行目的としては「グルメ」「雪遊び」でともに満足度が高い。

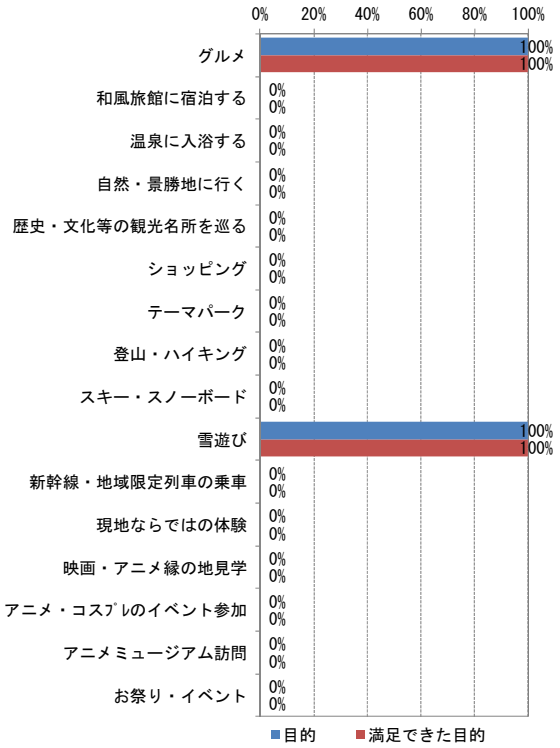

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の過去の東北旅行目的と満足できた目的構成比

※サンプル数は、過去に東北に行ったことがあると回答した回答者で新千歳空港が 1

（11）北海道への旅行目的と満足できた目的

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では、旅行目的として「グルメ」が最も高く約 93%、次いで「温泉入浴」が約 84%、「ショッピング」が約 67%と高い。また、「雪遊び」も 56%と高くなっている。これらの目的に対し、満足度も高い。

・羽田空港では、旅行目的として「グルメ」「温泉入浴」「自然・景勝地に行く」が高くなっている。

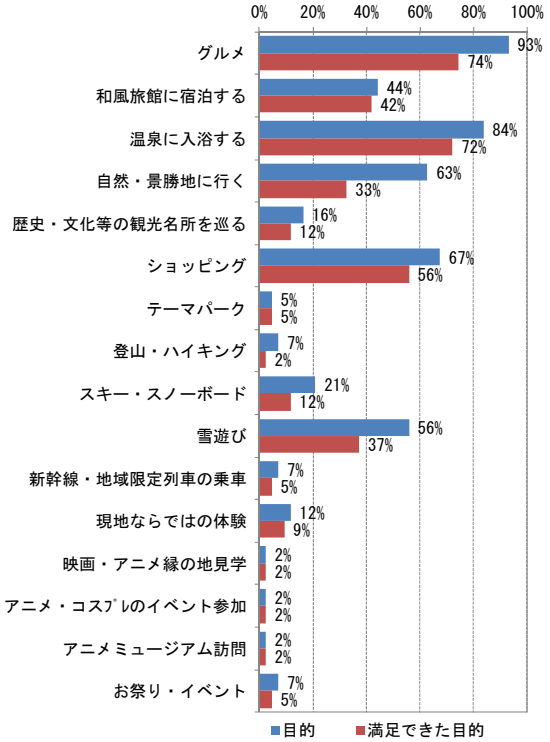

図　新千歳空港における
旅行目的と満足できた目的構成比

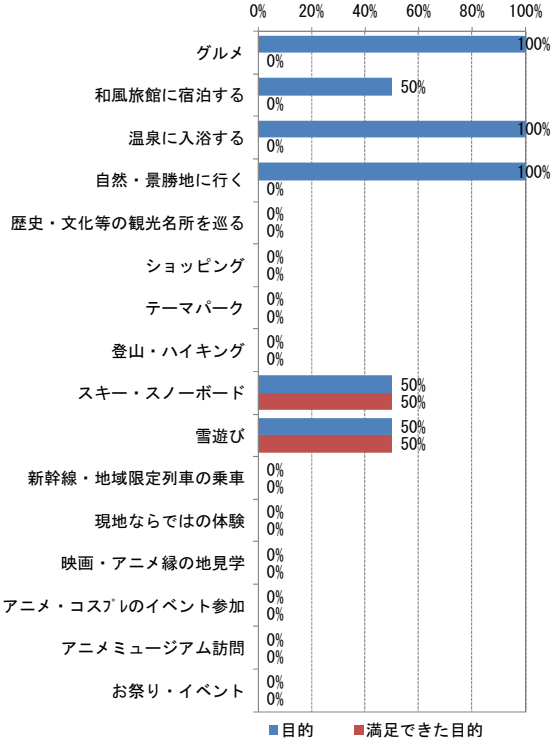

図　羽田空港における
旅行目的と満足できた目的構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港は過去に北海道に行ったことがあると回答した回答者で 2

(12) 過去の旅行における東北旅行の時期

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港の回答者は、「冬（１～３月）」に旅行に行っている。

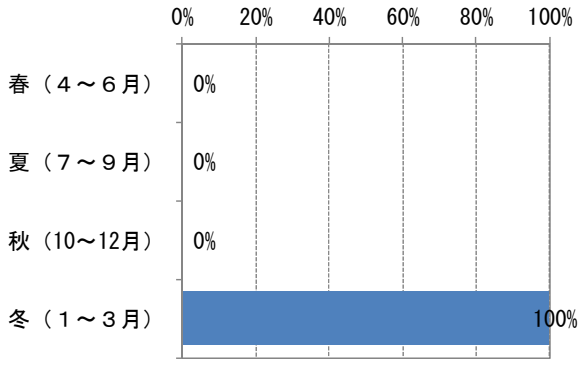

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の過去の東北旅行時期構成比

※サンプル数は、過去に東北に行ったことがあると回答した回答者で新千歳空港が 1

(13) 道内の利用交通手段

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では「電車」が約 56%と最も高く、「路線バス」が次いで高く約 40%である。

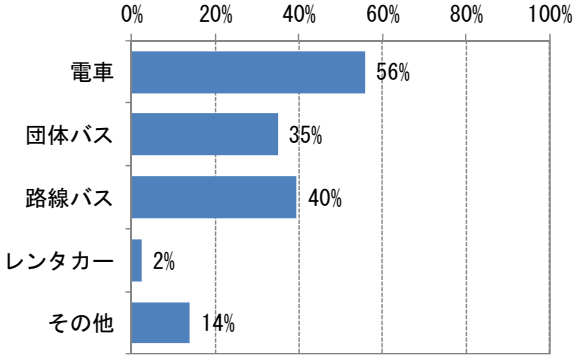

図　新千歳空港における
中国本土・香港市場の今回あるいは過去の道内利用交通手段構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43

（14）函館-青森・大間間のフェリーの認知

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港は「知らなかった」が約 81%と最も高いが、羽田空港は半々である。

・運行区間の認知は、「函館-青森間」が「函館-大間間」よりも高い。

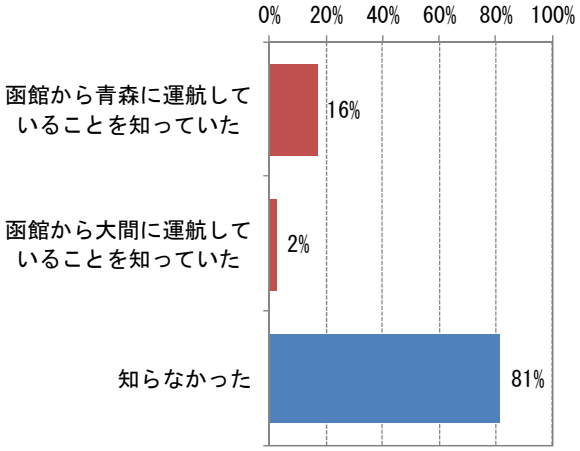

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の函館-青森・大間間のフェリーの認知構成比

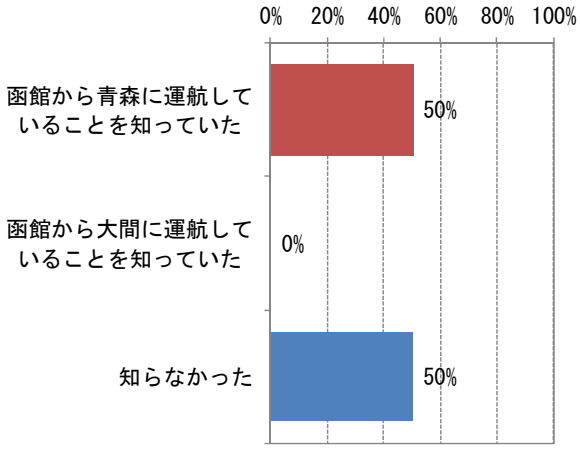

図　羽田空港における中国本土・香港市場の函館-青森・大間間のフェリーの認知構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（15）函館-青森・大間間のフェリーの使用経験

≪中国本土・香港市場≫

・函館-青森・大間間のフェリーの使用経験は、「利用したことがない」が約 98%と最も高い。

・利用時の形態は、函館-青森館で「往復利用」となっている。

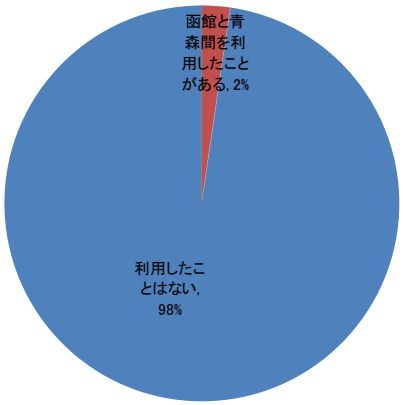

図　中国本土・香港市場の函館-青森・大間間のフェリーの使用経験構成比

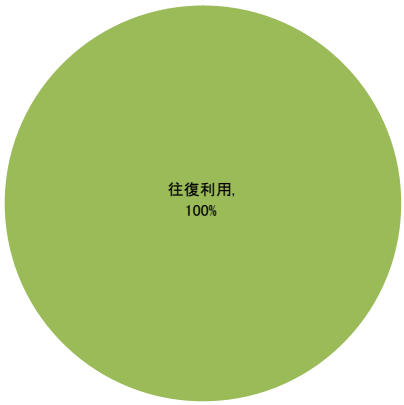

図　函館-青森間のフェリー使用時の形態構成比

※使用経験のサンプル数は、新千歳空港が 43

※函館-青森間の利用形態のサンプル数は、フェリー利用経験がある回答者で新千歳空港が 1

（16）函館-青森間のフェリー利用時の同行者

≪中国本土・香港市場≫
・「自分一人」の利用となっている。

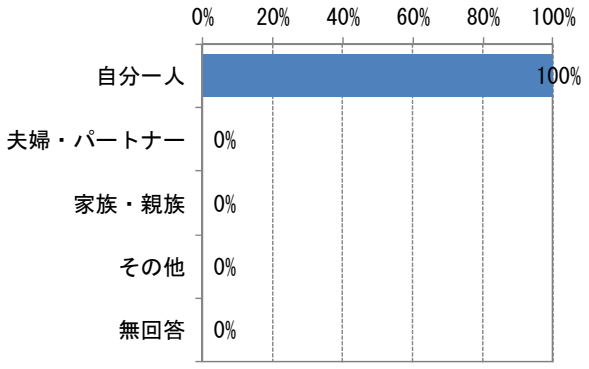

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の函館-青森間のフェリー利用時の同行者構成比

※サンプル数は、フェリー利用経験がある回答者で新千歳空港が 1

（17）フェリーによる函館-青森の周遊意向

≪中国本土・香港市場≫
・両空港ともに「旅行目的を満たせれば行ってみたい」が高く、新千歳空港は約 91%、羽田空港では 100%である。

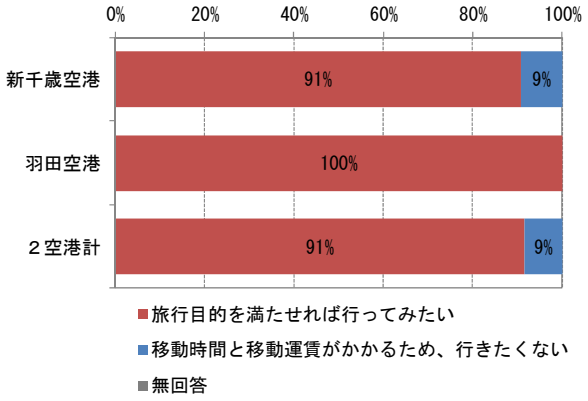

図　中国本土・香港市場のフェリーによる函館-青森の周遊意向構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（18）利用する際の部屋タイプの意向

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港は「多少高い料金でもグループのみで利用できる個室を利用する」が高く、約 92%であるが、羽田空港では半々である。

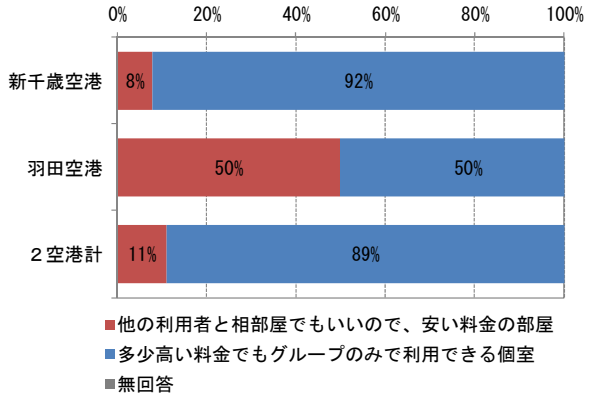

図　中国本土・香港市場の利用する際の部屋タイプの意向構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（19）旅行目的としてのフェリー利用可能性

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港は「旅行目的の一つとして、利用する」が高く、約 58%であるが、羽田空港では半々である。

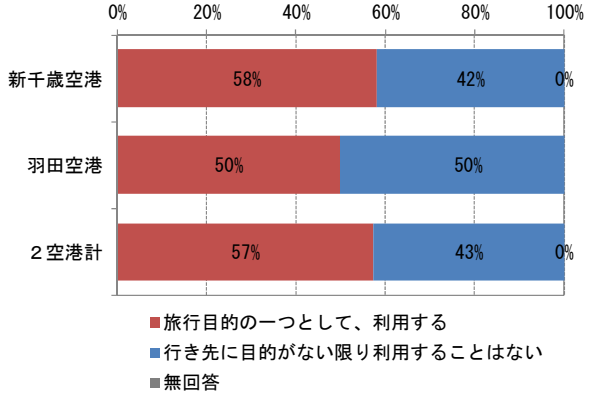

図　中国本土・香港市場の旅行目的としてのフェリー利用可能性構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

(20) 函館-青森間のフェリー利用による行き先での観光目的

≪中国本土・香港市場≫
・「温泉入浴」が行き先での目的となっている。

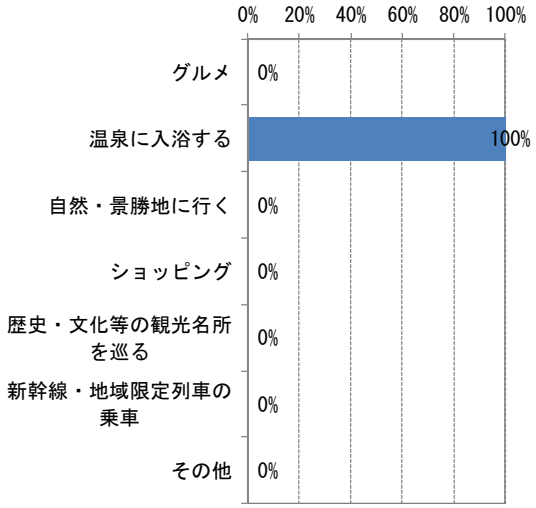

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の
函館-青森間のフェリー利用時による行き先での観光目的構成比

※サンプル数は、フェリー利用経験がある回答者で新千歳空港が 1

(21) 函館-青森間のフェリー利用時に不便に感じたこと

≪中国本土・香港市場≫
・「移動経路上における Wi-Fi などの通信環境整備による容易な情報収集」「フェリー乗り場までのバスの運行頻度」をあげている。

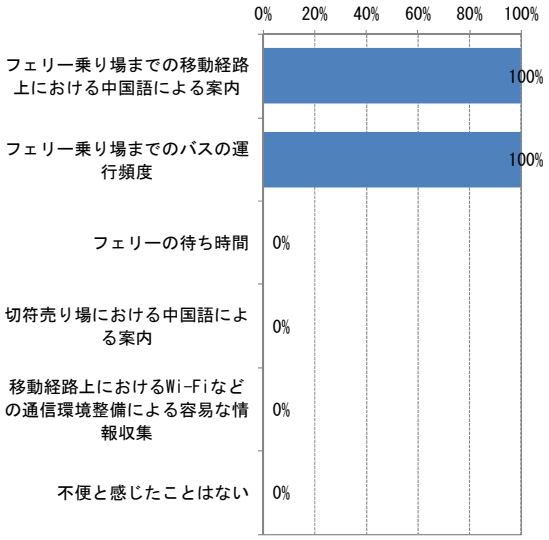

図　新千歳空港における中国本土・香港市場のフェリー利用時の不便に感じた項目構成比

※サンプル数は、フェリー利用経験がある回答者で新千歳空港が 1

（22）ジャパンレールパスの認知

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港は「名称など、初めて聞いた」が約 33%であり、認知者も約 33%いる。

・認知の内容では、「パスの内容を知っている」が約 33%であり、「購入場所を知っている」については、約 9%にとどまっている。

・羽田空港では「名称など、初めて聞いた」が 100%である。

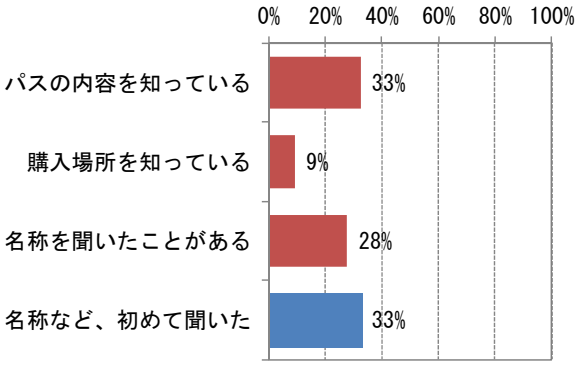

図　新千歳空港における中国本土・香港市場のジャパンレールパスの認知構成比

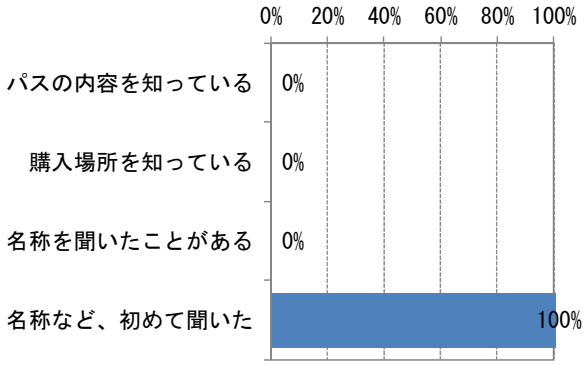

図　羽田空港における中国本土・香港市場のジャパンレールパスの認知構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（23）ジャパンレールパスの使用経験

≪中国本土・香港市場≫

・両空港ともに「使ったことはない」が高く、新千歳空港は約 79%、羽田空港では 100%である。

・ジャパンレールパスを使用しての東北来訪経験は、新千歳空港では約 2%で羽田空港では、今回の調査では利用経験者がいなかった。

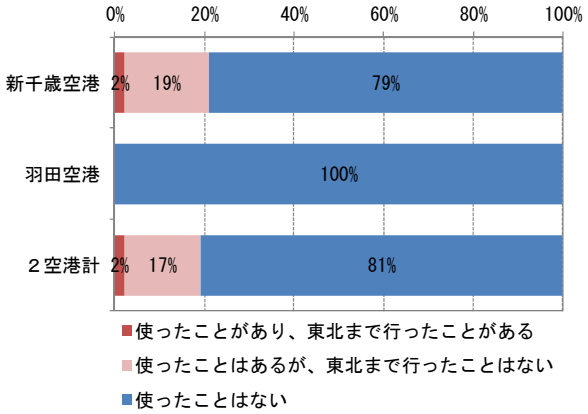

図　中国本土・香港市場のジャパンレールパスの使用経験構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（24）ジャパンレールパスを使用しての東北あるいは函館への来訪意向

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では「機会があれば、行ってみたい」が約 79 高く、羽田空港では約 25%である。

・「是非、行ってみたい」との積極的な意向は、新千歳空港では約 18%、羽田空港では約 75%である。

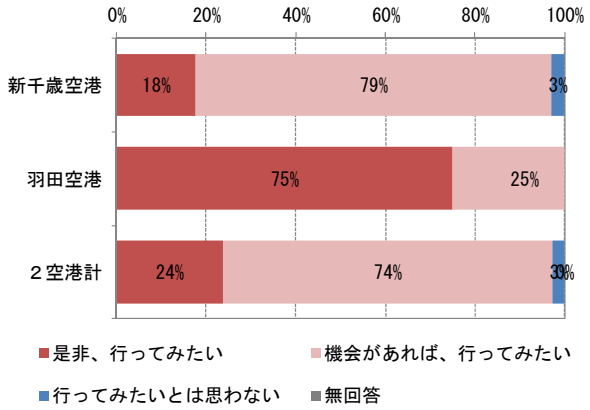

図　中国本土・香港市場のジャパンレールパスを使用しての東北あるいは函館への来訪意向構成比

※サンプル数は、「ジャパンレールパス使用経験なし」の回答者で新千歳空港が 34、羽田空港が 4

（25） ＪＲイーストパスの認知

≪中国本土・香港市場≫

・新千歳空港では、「パスの内容を知っている」「名称を聞いたことがある」がともに約35％と最も高い。

・羽田空港では、「名称など、初めて聞いた」が 100％である。

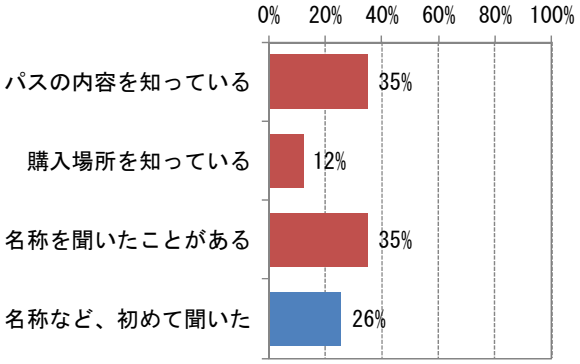

図　新千歳空港における中国本土・香港市場のＪＲイーストパスの認知構成比

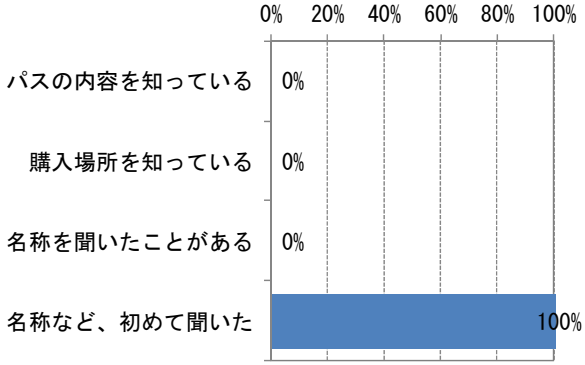

図　羽田空港における中国本土・香港市場のＪＲイーストパスの認知構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

（26） ＪＲイーストパスの使用経験

≪中国本土・香港市場≫

・「使ったことはない」が 100％である。

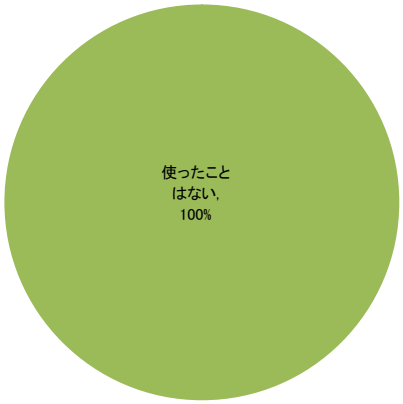

図　中国本土・香港市場のＪＲイーストパスの使用経験構成比

※サンプル数は羽田空港が 4

(27) ＪＲイーストパスを使用しての東北への来訪意向

≪中国本土・香港市場≫

・「是非、行ってみたい」との積極的な意向と「機会があれば、行ってみたい」との意見が半々である。

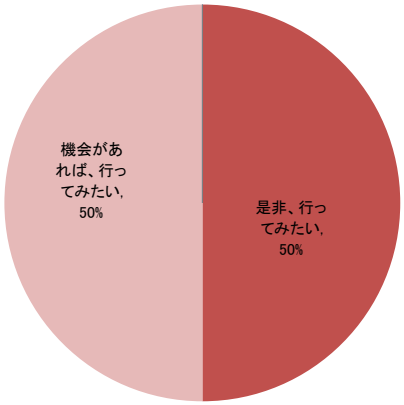

図　中国本土・香港市場のＪＲイーストパスを使用しての東北あるいは函館への来訪意向構成比

※サンプル数は、「ＪＲイーストパス使用経験なし」の回答者で羽田空港が 4

(28) 函館と青森の周遊時の移動方法意向

≪中国本土・香港市場≫

・両空港ともに「新幹線とフェリーを片道ずつ利用したい」が高く、新千歳空港は約 56%、羽田空港では約 50%である。

・往復ともに新幹線を利用する意向は、新千歳空港は約 33%、羽田空港では約 50%である。

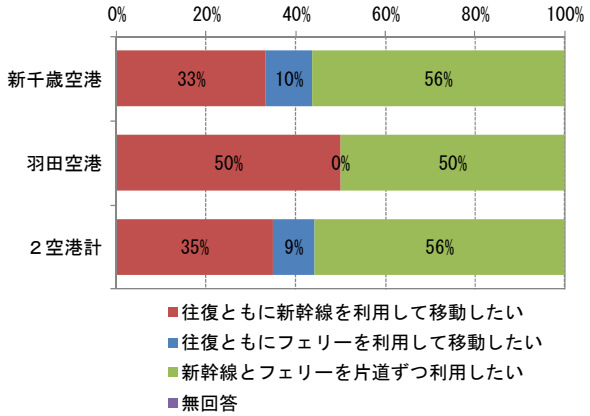

図　中国本土・香港市場の周遊時の移動方法意向構成比

※サンプル数は、新千歳空港が 43、羽田空港が 4

(29) 函館と青森を周遊するための条件

≪中国本土・香港市場≫

・全ての人が「交通手段間の乗り継ぎ時間の短さ」をあげている。また、「移動経路上における Wi-Fi などの通信環境整備による容易な情報収集」も約 75%と高い。

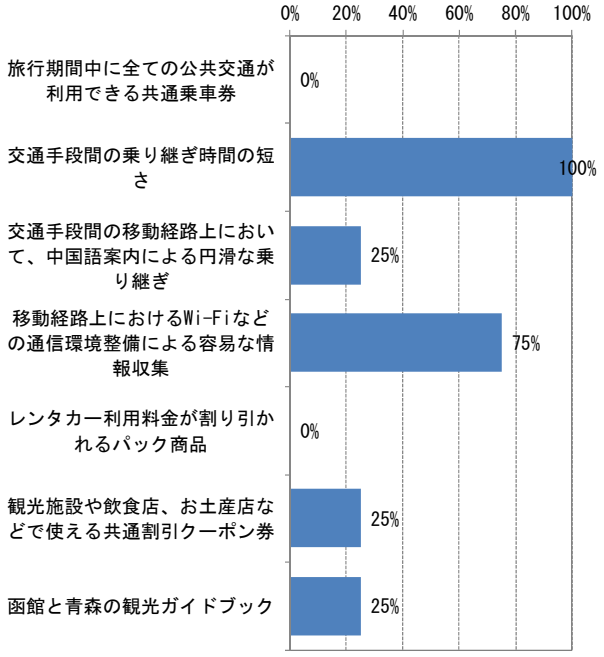

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の周遊するための条件構成比

※サンプル数は羽田空港が 4

(30) 東京と青森を周遊するための条件

≪中国本土・香港市場≫

・「東京周辺では体験できない観光資源」が約 75%と最も高い。

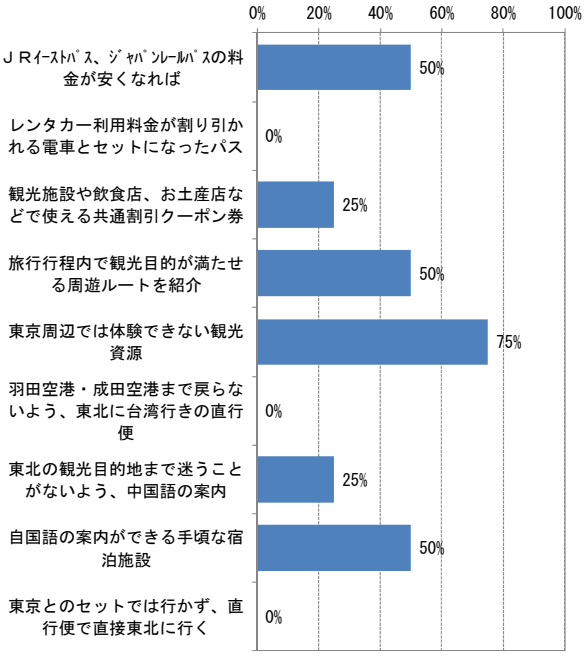

図　新千歳空港における中国本土・香港市場の周遊するための条件構成比

※サンプル数は羽田空港が 4